

衆議院環境委員会ニュース

平成 29.3.17 第 193 回国会第 5 号

3 月 17 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 原子力利用における安全対策の強化のための核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第 17 号）

- ・参考人から意見を聴取しました。
 - ・山本環境大臣（原子力防災担当大臣）、井原経済産業大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・塩川鉄也君（共産）が討論を行いました。
 - ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民進、公明、維新 反対一共産、自由）
 - ・富岡勉君外 3 名（自民、民進、公明、維新）から提出された附帯決議案について、太田和美君（民進）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成一自民、民進、公明、維新 反対一共産、自由）
- （参考人） 東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻教授・総長特任補佐 関村直人君
認定特定非営利活動法人原子力資料情報室共同代表 伴英幸君
公益社団法人日本アイソトープ協会常務理事 二ツ川章二君
元原発技術者 小倉志郎君

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

木村弥生君（自民）

- ・今回の法改正に期待する点について、各参考人に伺いたい。
- ・新たな検査制度に対応した人材育成の在り方について、関村参考人、伴参考人及び小倉参考人に伺いたい。

阿部知子君（民進）

- ・東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）の事故が起きた一番の原因は何だと考えるか、各参考人の見解を伺いたい。
- ・事業者が第一義的に行う定期検査とともに、原子力規制委員会による検査がないと、むしろ規制緩和になってしまうのではないかと懸念するが、関村参考人の見解を伺いたい。

斉藤鉄夫君（公明）

- ・今回の検査制度の改革により検査の第三者性が損なわれるのではないかと意見もあるが、この点についての関村参考人の見解を伺いたい。
- ・アイソトープの製造に関する法的な位置付けについて、

二ツ川参考人に伺いたい。また、アイソトープの取扱量が減少しているという説明があったが、その理由についてどのように考えているか併せて伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・伴参考人から、I R R S 報告書の勧告で述べられているフリーアクセスの意図するところは、今回の改正案の内容とは違い、事前通告なしの検査であるという説明があったが、この点について詳細を伺いたい。
- ・小倉参考人から、安全とは立場（政府・原子力事業者・国民）によって異なるが、国民の立場に立った安全が重要であるとの説明があったが、この点について具体的なお考えがあればご紹介いただきたい。

小沢鋭仁君（維新）

- ・福島第一原発の事故の直接的な原因は、冷却装置が海側にあり、電源喪失により同装置が機能せず原子炉を冷やすことができなくなったことであると思料するが、当時の規制当局はなぜこの問題を見抜けなかったのか、関村参考人の考えを伺いたい。
- ・特定放射性同位元素のテロ対策の防護措置として具体

的にどのような対策が考えられるのか、二ツ川参考人の見解を伺いたい。

玉 城 デニー君 (自由)

- ・福島第一原発の事故の前と後における原子力事業者及び規制当局の自然由来の事故に対する認識の変化について、関村参考人の所見を伺いたい。
- ・伴参考人から、今回の改正の罰金額では原子力事業者の不正を防ぐことができないとの示唆があったが、制度に何を加えることによって不正をなくすことができているのか、同参考人の見解を伺いたい。

(政府等に対する質疑)

助 田 重 義君 (自民)

- ・廃止措置計画の認可申請中及び廃止措置中の原子力施設は、新しい検査制度ではどのように検査を行っているのか、原子力規制庁に伺いたい。
- ・もんじゅを廃炉にすると決定したことについて、地元自治体の意向を汲み取ったものとは言えないと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・原子力施設の廃炉について、今回の改正ではどのような制度を考えているのか、原子力規制庁に説明願いたい。

細 野 豪 志君 (民進)

- ・福島第一原発の2、3、5、6号機の廃炉に関わっている東芝が、巨額損失問題もあり、原子力メーカーとして大丈夫なのか、責任官庁である資源エネルギー庁の見解を伺いたい。
- ・加圧水型原子炉の審査は進んでいるが沸騰水型原子炉の審査は一機も終了していない。今後沸騰水型の審査について、どのようなスケジュールで、いつ審査の体系が確立するのか、田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）の見解を伺いたい。
- ・新しい検査制度のポイントは総合的な監視評価に変えるという点であるとのことであるが、これまで原子力規制庁が行ってきた溶接安全管理審査や定期検査等がなくなるわけではないという理解でよいか、原子力規制庁に確認したい。

福 田 昭 夫君 (民進)

- ・経済産業省が示した福島第一原発の事故処理費用として総額21.5兆円の中に、帰還困難区域の復興拠点の整備、燃料デブリ等の廃棄物の処分及び中間貯蔵の除去土壌等の処理費用が含まれているかどうか、経済産業省に伺いたい。

- ・今後の原子力発電所等の廃炉に向けた国の政策の在り方について、井原経済産業大臣政務官及び田中委員長の見解を伺いたい。

木 内 孝 胤君 (民進)

- ・新しい検査制度では検査官が原子力発電所内の様々な定量的数値を常時監視することができるのか、また外から一定のアクセス権をもってメール等により情報へのアクセスはできるのか、原子力規制庁に伺いたい。
- ・原子力損害賠償・廃炉等支援機構法は福島第一原発事故のすべての責任を東京電力に押しつけるスキームとなっており、モラルハザードに陥るのではないかと考えるが、資源エネルギー庁はこのスキームが持続可能な制度であると考えているのか伺いたい。
- ・国際規制物資使用者による少量核燃料物質の管理の体制整備の状況について、原子力規制庁に伺いたい。

塩 川 鉄 也君 (共産)

- ・今回の放射性廃棄物の埋設の規制の見直しのポイントについて、田中委員長に伺いたい。また、低レベル放射性廃棄物の浅地中処分に関して今回見直しをしないのはなぜか、併せて伺いたい。
- ・動力試験炉（JPDR）の解体に伴い生じた低レベル放射性廃棄物のトレンチ処分については、水田への影響等に対する不安の声が上がっているが、コンクリート等による遮へいを行うピット処分など、より安全な処分方法を用いることは考えていないのか、原子力規制庁に伺いたい。
- ・日本原子力発電東海第二発電所から30キロメートル圏内にある14市町村の避難計画の策定状況について、内閣府に伺いたい。また、策定が思うように進んでいない理由について併せて伺いたい。

玉 城 デニー君 (自由)

- ・今回の改正における特定放射性物質の輸送における防護措置に係る国の責任体制について、原子力規制庁に確認したい。
- ・特定放射性物質の輸送中にテロ事案等が発生した場合の警察、消防及び自治体等の連携について具体的な計画はなされているのか、国土交通省に伺いたい。

河 野 正 美君 (維新)

- ・日中韓上級規制者会合における協力体制の現状と課題について、原子力規制庁に確認したい。
- ・今回の改正で事業者に廃止措置実施方針の作成が義務付けられるが、同方針の公表にどのくらいの時間がか

かるとみているのか、原子力規制庁に確認したい。また、同方針に放射性廃棄物の処分方法は記載されるのか、併せて確認したい。